古城佳子教授　略歴と業績

学歴

1980 年 3 月　東京大学教養学部教養学科国際関係論分科卒業
1983 年 3 月　東京大学大学院社会学研究科国際関係論専攻修士課程修了
1984 年 9 月　プリンストン大学大学院（政治学部）留学（フルブライト奨学生）
1986 年 5 月　プリンストン大学大学院（政治学部）MA 取得
1993 年 5 月　プリンストン大学 Ph.D（政治学）取得

職歴

1988 年 4 月～ 91 年 3 月	國學院大学法学部専任講師
1991 年 4 月～ 96 年 3 月	國學院大学法学部助教授
1996 年 4 月～ 99 年 5 月	東京大学大学院総合文化研究科国際社会科学専攻助教授
1999 年 6 月～ 2020 年 3 月	東京大学大学院総合文化研究科国際社会科学専攻教授
2020 年 4 月～ 25 年 3 月	青山学院大学国際政治経済学部教授
2020 年 6 月～現在	東京大学名誉教授
2020 年 9 月～ 22 年 3 月	東京大学大学院総合文化研究科客員教授

業績リスト　2020 年～ 2025 年 1 月

〈論文〉

・古城佳子（2020）「長期化する米中対立がサプライチェーンに落とす影」『外交』vol.59、42-47。
・古城佳子（2021）「COVID-19 と『自由主義国際秩序―合意と懐疑』」『国際法外交雑誌』第 130 巻、339-349.

・古城佳子（2021）「ポスト・トランプ状況と国際協調の行方」『世界』1月号、196-203。
・古城佳子（2022）「バイデン政権の国際協調の課題：国際経済分野の多国間主義」『世界経済評論』1、2月号、50-55。
・古城佳子（2022）「不安定化する世界経済と日韓協力の可能性」East Asian Institute (Seoul) (https://www.eai.or.kr/new/ko/pub/view.asp?intSeq=21817)（韓国語に翻訳）
・古城佳子（2023）「今日の『経済安全保障』―経済的相互依存論の含意」『平和と安全保障』第9号、79-87。
・Kojo, Yoshiko (2024) “G20 Summit Places Priority on Avoiding Division” *Asia-Pacific Review*, 11-16.
・古城佳子（2024）「紹介　森聡編『国際秩序が揺らぐとき』」『国際法外交雑誌』第123巻、238-42。

〈その他〉
・古城佳子（2020）「駒場回顧」『国際社会科学』第69号、1-7。
・インタビュー（2020）「古城佳子先生インタビュー」（インタビュワー　石田淳・遠藤貢・湯川拓）『国際社会科学』第69号、9-30。
・発表（2020）「多国間主義の再検討―戦後国際経済組織と日本」駒場国際政治ワークショップ。
・古城佳子（2020）「経済教室　コロナ危機と世界秩序（下）　国際機関、「共通の利益」明確に」『日本経済新聞』7月21日朝刊。
・パネリスト（2020）言論フォーラム「G7は復権したのか」7月27日。
・パネリスト（2021）言論フォーラム「バイデン政権で国際強調と民主主義の修復はあるのか」1月15日。
・パネリスト（2021）　言論フォーラム「コロナ危機の世界史的な意味と世界の今後をどう見るか」7月2日。
・パネリスト（2021）日韓未来対話「なぜ今、韓国との対話が必要なのか」10

月 2 日。

・発表（2021）共通論題「コロナと国際経済秩序」日本国際政治学会 2021 年度研究大会、10 月 30 日。

・発表（2022）" Cooperation and Conflict in Finance: Problem of Exchange Rate in US-Japan Relations after the Nixon Shock" SAIS Conference on the Evolution of US-Japan Cooperation since the Nixon Shocks, Johns Hopkins University、1 月 13 日。

・発表（2022）「COVID-19 ワクチンをめぐる公衆衛生と知的財産権保護の相克」日本学術会議主催学術フォーラム「コロナ禍を共に生きる＃５　感染症をめぐる国際政治のジレンマー科学的なアジェンダと政治的なアジェンダの交錯」2 月 6 日。

・古城佳子（2022）「経済教室　瀬戸際の多国間枠組み（中）『共通の利益』の価値再認識を」『日本経済新聞』6 月 8 日朝刊。

・討論者（2022）日本学術会議主催公開シンポジウム『アジアから見たウクライナ戦争―世界の視線の多様性と日本の選択』9 月 18 日。

・司会（2022）分科会「GAFA をめぐる国際政治経済学」日本国際政治学会 2022 年度研究大会、10 月 28 日。

・発表（2022）「コロナ、ウクライナ危機とグローバル化の行方」日本アカデメイア研究会、12 月 23 日。

・討論者（2023）国際シンポジウム "Non-Western Nations and the Liberal International Order" 埼玉大学、9 月 23 日。

・討論者（2023）分科会「『危機』における協力と対立の国際政治経済」日本国際政治学会 2023 年度研究大会、11 月 11 日。

・発表（2024）"IPR Regime Formation in the East Asia: Soft or Hard Regime?" ISA 2024 Conference (San Francisco) 4 月 3 日。

・司会（2024）共通論題「国際政治学と政策形成―EBPM の可能性と限界」日本国際政治学会 2024 年度研究大会、11 月 16 日。

・パネリスト（2024）「第 20 回東京―北京フォーラム」分科会「多国間主義に

伴う世界秩序と平和の修復」言論 NPO、12 月 4 日。

・監修・出演（2025）NHK E テレ　高校講座『世界史探究』第 35 回「ヨーロッパの現代史と EU」、第 38 回「経済のグローバル化」。